

初心者さんでも大丈夫！
想いを線にして切る「ファン
タジー切り絵」のはじめ方



想像を自由に形にする、あなただけの「ファンタジー切り絵」の世界

はじめに



切り絵作家 コージー

読者のみなさん、こんにちは。切り絵作家のコージーです。

この電子書籍を手にとっていただき、本当にありがとうございます。

今、このページを開いてくださっているということは、きっと「切り絵に興味がある」「自分でも可愛い作品を作ってみたい」というワクワクした気持ちを、心のどこかに持っていらっしゃるのではないのでしょうか。

でも、同時にこんな不安も感じていませんか？

「切り絵って、すごく細かくて難しそう……」

「初めての私に、あんな繊細な作業ができるのかな」

「道具も何から揃えていいかわからないし、途中で挫折してしまいそう」

もしそうだとすると、どうか安心してください。大丈夫ですよ。

その不安は、切り絵を始める前なら誰しもが抱く、ごく自然な感情です。最初から自信満々でカッターを握れる人なんて、実はほとんどいません。

大切なのは、「やってみたい」という、その小さな好奇心だけです。

この電子書籍では、初心者さんでも安心して始められる「楽しくつくる切り絵」の秘密を、コージーの失敗談や実際の生徒さんの声も交えながら、たっぷりとお伝えしていきます。

読み終える頃には、「私にもできそう!」「早くカッターを握ってみたい!」と、前向きな気持ちになっているはずです。

さあ、コージーと一緒に、あなただけの「ファンタジー切り絵」の世界へ一歩を踏み出してみませんか?

きっと、想像以上に楽しくて、優しい時間が待っていますよ。



第1章

魔法のような「ファンタジー切り絵」の世界へようこそ

「切り絵」と聞いて、みなさんはどんなものを想像しますか？
白黒の渋い風景画や、息を呑むほど細密で複雑な模様を思い浮かべる方が多いかもしれません。もちろんそれらも素晴らしい芸術ですが、私が皆さんにお伝えしたいのは、もっと自由で、色彩豊かで、物語にあふれた「ファンタジー切り絵」の世界です。

1-1. 想像を形にする楽しさ

ファンタジー切り絵では、現実には存在しないようなカラフルなキノコの森や、楽しそうに空を飛ぶ動物たちなど、あなたの頭の中にある「可愛い」「こんな世界があったらいいな」という想いを自由に表現します。



一枚の紙から広がる、優しくて温かい世界

お手本の図案を切るだけでなく、そこに好きな色の和紙を重ねたり、水彩で色付けをしたりすることで、一枚の紙からまるで魔法のように温かい世界が浮かび上がってくるのです。

1-2. 正解のない自由なアート

「はみ出したらどうしよう」「線がガタガタになっちゃうかも」
そんな心配は一切ありません。

POINT

ファンタジー切り絵には「こうでなければならない」という厳しいルールや正解はありません。少し線が太くなったり、丸みを帯びたりしても、それが手作りの温かみであり、あなただけの「個性」になります。

完璧を目指すのではなく、ただカッターを進める時間そのものを楽しむ。それが、初心者さんでも無理なく続けられる一番の秘訣です。



第2章

絵を隠し続けた私が「ファンタジー切り絵」に出会うまで

今でこそ、こうして毎日カッターを握り、たくさんの方に切り絵の楽しさをお伝えしている私ですが、最初から自信に満ち溢れたアーティストだったわけではありません。

2-1. 自分の作品を見せるのが恥ずかしかった少年時代

実は子どもの頃から絵を描くことは大好きだったのですが、自分が描いたものを誰かに見せるのがとても恥ずかしく、こっそりとノートの隅に描いては隠すような少年でした。

「上手いと思われなかったらどうしよう」「笑われたら嫌だな」という不安が常にあったのです。

大人になるにつれて日々の忙しさに追われ、表現すること自体からすっかり離れてしまっていました。

2-2. 子どもとの時間が教えてくれた「創る喜び」

そんな私が再びアートの世界に戻ってきたのは、大人になり、自分の子どもたちと一緒に楽しめる創作活動はないかと探し始めたことがきっかけでした。

そこで偶然出会ったのが「切り絵」です。

真っ白な紙にカッターを入れ、不要な部分を切り落としていくと、少しずつ形が浮かび上がってくる。その静かで集中できる心地よい時間と、完成した時の大きな達成感に、私は一気にのめり込みました。

事例

自分のために作るだけでなく、子どもたちが「パパすごい！可愛い！」と喜んでくれる姿を見た時、心の底から「創るってこんなに幸せなことなんだ」と感じる事ができたのです。

あの時の喜びとワクワク感が、今の「コージー切り絵アカデミー」の原点になっています。



第3章

初心者さんが陥りやすい「道具と手順」の罠

いざ「切り絵をやってみよう！」と思っても、多くの方が最初の道具選びや手順でつまづいてしまいます。ここで、初心者さんがよく誤解してしまうポイントをお伝えしておきますね。

3-1. トレーシングペーパーの誤解

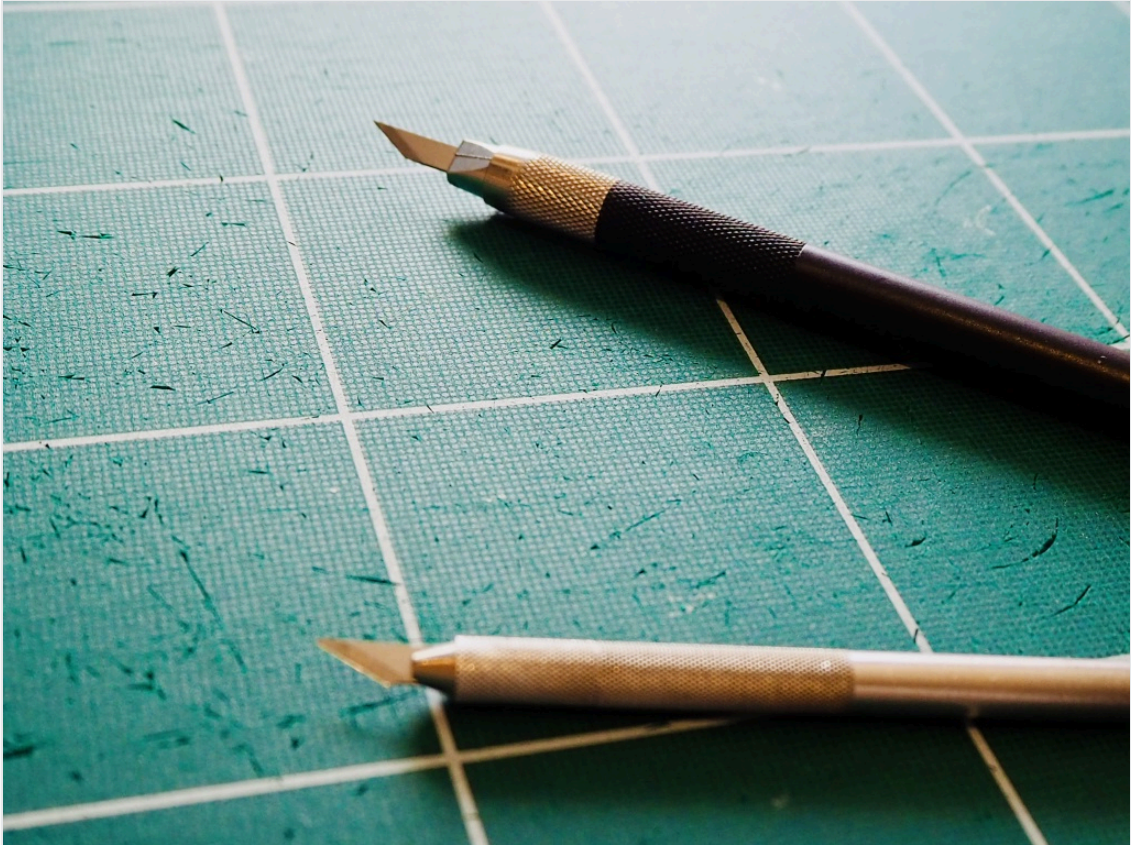
よく「トレーシングペーパーを重ねて一緒に切るんですか？」と聞かれることがありますが、これは現実的ではありません。

△ 注意

トレーシングペーパーは、あくまで図案を写し取ったり、後から色をつけるための「カラーパーツ」を作るためのものです。切り絵の本体として直接カッターを入れて切るための紙ではありません。本体には、しっかりとした切り絵用の用紙を使いましょう。

3-2. 刃の切れ味は「作品の命」

そしてもう一つ、非常に大切なのが「カッターの刃」の扱いです。
「まだ切れるから」と、同じ刃をずっと使い続けていませんか？



切れ味は作品の命。こまめに刃を交換しましょう

切り絵において、カッターの切れ味は作品の仕上がりに直結します。切れ味が落ちた刃を無理に使おうとすると、紙が毛羽立ったり、余計な力が入って手首を痛めたりする原因になります。

💬 ワンポイント

少しでも「引っかかるな」と感じたら、もったいぶらずにこまめに刃を折るか、新しい刃に交換してください。常に鋭い切れ味を保つことが、綺麗に、そして安全に切るための最大のコツです。



第4章

「出来た切り絵はあなたのこども」という魔法

切り絵の技術や道具以上に、私が皆さんにお伝えしたい大切な哲学があります。

それは、「出来た切り絵はあなたのこども」だということです。

4-1. 愛情を込めて生み出す

時間をかけて、一つひとつの線をなぞり、息を詰めながら丁寧に切り出した作品は、単なる「紙の切れ端」ではありません。あなたの手から生まれ、あなたの想いが込められた、世界でたった一つの愛おしい存在です。

少し不恰好になってしまったところがあっても、「うちの子はちょっとぽっちゃりしちゃったな」と笑って愛してあげてください。その愛情こそが、作品に温かい命を吹き込みます。

4-2. 額縁に入れて「居場所」を作る

完成した「こども」たちは、ぜひ引き出しにしまわずに飾ってあげてください。
伊勢和紙などを使って優しく色付けをし、美しい額縁に入れてお部屋に飾ることで、
彼らは立派なアート作品として輝き始めます。



愛情を込めて生み出した「こども」に美しい居場所を

自分の作った作品がリビングや玄関にあるだけで、日常の空間がホッと癒される特別な場所になるのを、きっと実感していただけるはずです。



第5章

想いを線にして切る「ファンタジー切り絵」の始め方

ここまで読んでくださった読者のみなさん、いよいよ実際に「ファンタジー切り絵」の世界へ足を踏み入れる準備が整いました。

前の章でお伝えした「楽しくつくる」というルール、覚えていらっしゃいますか？肩の力を抜いて、ワクワクした気持ちで進めていきましょう。

5-1. 自分の「想い」を線にすること

「ファンタジー切り絵」の最大の魅力は、ただお手本の図案を事務的に切り抜くことではありません。自分の頭の中にある小さな物語や、大好きな世界観を「線」として描き出し、それを切り出していくことにあります。

例えば、森の中に住む小さな動物たちのお茶会。星降る夜に空を飛ぶ猫。私の作品にも、物語の主人公となる小さなオリジナルのキャラクターたちがよく登場します。彼らを思い描きながらカッターを進める時間は、まるで自分だけの絵本を作っているような、とても幸せな時間です。

 POINT

図案は単なる「切るためのガイド」ではなく、あなたの「想い」そのものです。「こんな子を作りたいな」「こんな表情にしよう」と愛情を込めながら線をなぞることで、作品に命が吹き込まれていきます。

5-2. 初心者さんでも大丈夫！迷わず切れるステップのコツ

「そうは言っても、いざカッターを持つと緊張してしまいます」という方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、大丈夫です。初心者さんでも迷わず、スムーズに切れるようになる「ちょっとしたコツ」があります。

まず、第3章で「道具と手順の罨」についてお話ししましたが、ここで私が愛用しているおすすめのコツをこっそりお教えしますね。

カッターは、細かな作業もしやすく手によく馴染む「NTデザインナイフ DS-800P」がとても使いやすいです。そして、切り抜いた作品に温かみを出したい時は、「伊勢和紙」のような優しい風合いの紙を重ねてみると、一気にファンタジーの世界観が広がります。

💬 ワンポイント

道具選びに迷ったら、まずはこの「NTデザインナイフ」から始めてみてください。初心者さんこそ、使いやすい道具を選ぶことで余計な失敗を防ぎ、スイスイと切る楽しさを味わうことができますよ。



紙の方を回しながら切るのが、美しい曲線のコツ

切る時の最大のコツは、無理に手首をひねるのではなく「紙の方を回す」こと。これだけで、曲線が驚くほど綺麗に切れるようになります。

5-3. 太めの線をなぞることから広がる、自分らしいアレンジ

私が初心者さんにお勧めしているのは、「太めの線をなぞって切る」というアプローチです。

細くて繊細すぎる線は、どうしても息が詰まってしまいますし、少しでもカッターが滑ると途切れてしまいます。でも、太めの線なら、少しカッターの軌道がズレても線が切れてしまう心配がありません。

この「太めの線をなぞる」という安心感こそが、楽しさの秘密です。

生徒さんからも、「太めの線をなぞるだけなので、初心者な私でも綺麗に仕上がってビックリしました！」という嬉しいお声をたくさんいただいています。

そして、この太い線の「どこを切るか（線の内側か、外側か）」によって、出来上がる

キャラクターの表情が微妙に変わってきます。少しふっくらしたり、スリムになったり。

事例

「お手本通りに切ったつもりなのに、なんだか私に似たお顔になっちゃいました（笑）」と笑顔でおっしゃる生徒さんもいます。そのちょっとした違いこそが、あなたらしさであり、世界に一つだけの「こども」が生まれた証拠なのです。

✓ まとめ

- ・「ファンタジー切り絵」は、あなたの小さな物語や想いを形にする作業です。
- ・「NTデザインナイフ」など、使いやすい道具を使うことでつまずきを防げます。
- ・紙を回しながら、「太めの線」をなぞって切ることで、初心者さんでも安心・綺麗に仕上がります。

◆ ここまで読んでいただいた初心者さんへ

ここまでで、ファンタジー切り絵を「楽しくつくる」ための基本的な考え方やコツをお伝えしてきました。

「もっと具体的に、自分らしい作品を作れるようになりたい」

「同じように切り絵を楽しむ仲間と一緒に進めたい」

そう感じた方のために、私が直接サポートするオンラインスクール『コ
ーギー切り絵アカデミー』をご用意しています。

詳細やお申し込みについては、別途メールでお届けしているご案内ページから手続きいただけます。



第6章

自分の「切り絵」を生み出したみなさんの変化

ここまで、「楽しくつくる切り絵」の考え方や、スムーズに始めるためのコツをお伝えしてきました。

でも、「本当に私にもできるのかな？」と、まだ少しドキドキしている読者のみなさんもいらっしゃるかもしれませんね。

どうか、安心してください。大丈夫ですよ。

コーギーの講座や教室に来てくださった方々も、最初はみなさんと同じように「私にできるかな」という不安からのスタートでした。

ここでは、実際に「ファンタジー切り絵」に挑戦し、自分だけの作品を生み出したみなさんが、どんな風が変わっていったのかをご紹介します。

6-1. 全くの未経験から1ヶ月で3作品完成させた達成感

「カッターを握るのは中学生以来……」という全くの初心者さんでも、正しい順番とちょっとしたコツを知るだけで、驚くほど素敵な作品を作ることができます。

実際に、スタートからわずか1ヶ月で3つもの作品を完成させた方もいらっしゃるんですよ。

事例

| Y.T様の声

| 「カッターを使うなんて中学生の美術の授業以来…」と、最初は本当に私にできるか不安でいっぱいでした。でも、説明通りの手順でゆっくり進めてみたら、ちゃんと形になって感動！自分でも信じられないくらい可愛くできました（笑）。途中で少しつまづいた時も、チャットで質問したらすぐにアドバイスをもらえたので、一人で悩まずに最後まで完成させることができて助かりました。

「自分にもこんなに可愛い作品が作れた！」という達成感は、何にも代えがたい喜びです。独学のように一人で悩むことがないので、途中で手が止まることなく、最初の1枚から迷わず完成させることができるのです。

6-2. 家族や友人を笑顔にする、最高のプレゼント

作品が完成したら、ぜひお部屋に飾ってみてください。

第4章でお伝えしたように、出来た切り絵はあなたのこどもです。自分の手から生まれた愛おしい「こども」たちがリビングや玄関にいただけで、日々の疲れがホッと癒される、温かい空間に変わります。



あなたの作品が、誰かを笑顔にする最高の贈り物に

そして、その喜びは周りの人にも伝染していきます。

 事例

| M.S様の声

| 太めの線をなぞるだけなので、初心者でも綺麗に仕上がってビックリ！すっかりハマってしまい、いくつか作って額縁に入れ、リビングや玄関に飾ってみました。家族にも「これママが作ったの!？」と驚かれています。もっと色々な季節のお花や動物にチャレンジしていきたいです！

最初のご自身の癒しのために始めた切り絵が、いつの間にか上達し、家族や友人にプレゼントして心から喜ばれるレベルになった方もたくさんいます。あなたの作った作品が、誰かを笑顔にする最高の贈り物になるのです。

6-3. SNSでフォロワー1000人！新しいコミュニティが生まれた喜び

「ファンタジー切り絵」の楽しさは、お部屋の中だけにとどまりません。ご自身の「こども」たちの写真を撮ってSNSで発表し始めると、そこから新しい世界が広がっていきます。

ある生徒のBさんは、SNSで作品を発信し始めたところ、「可愛い!」「癒されます」とたくさんの反響を呼び、あっという間にフォロワーが100人から1000人へと増えました。

💡 POINT

単に数字が増えたこと以上に素晴らしいのは、そこから「作家仲間」ができ、同じ趣味を分かち合える新しいコミュニティが生まれたことです。

大人になってから、同じ「好き」の気持ちで繋がれる仲間ができるのは、本当に素敵なことですね。SNSを通じて誰かを笑顔にし、自分自身も温かい言葉をもらう。そんな幸せな循環が、切り絵を通して生まれているのです。

✓ まとめ

- ・初心者さんでも、手順に沿って進めれば短期間で作品を完成させられます。
- ・自分の生み出した「こども（作品）」は、自分を癒し、家族や友人を笑顔にします。
- ・SNSで作品を発表することで、同じ趣味を持つ仲間と繋がり、新しい居場所ができます。



第7章

これから切り絵を始めるみなさん へ

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。
「ファンタジー切り絵」の世界はいかがでしたか？

第2章でお話しした通り、私も最初は自分の作品を見せるのが恥ずかしい、ただの絵を描くのが好きな少年でした。一度は忙しさに追われて表現することから離れましたが、ふとしたきっかけで紙を切る楽しさに出会い、今ではこうして毎日ワクワクしながらカッターを握っています。

7-1. あなたの「ファンタジー」を形にする第一歩

切り絵の素晴らしいところは、特別な才能や、高価な機材がなくても、紙とカッターさえあれば「今すぐ、この机の上から」始められることです。

POINT

「上手く切れるかな」と心配する必要はありません。
お手本の図案はあくまで道しるべ。太めの線をなぞりながら、少しはみ出し

でも、ちょっと形が変わっても、あなたが楽しくつくったものはどれも素敵
なのです。

あなたの中に眠っている「こんな動物がいたら可愛いな」「こんな世界を作ってみたい
な」という小さなファンタジーを、どうか怖がらずに線にしてみてください。



さあ、あなたの中の「ファンタジー」を形にしてみましょう

7-2. 切り絵を通して、自分と周りを笑顔にしよう

時間をかけて、想いを込めて切り出した作品は、単なる紙切れではありません。
出来た切り絵はあなたのこどもです。

その「こども」たちは、額縁に入れて飾ることでああなたのお部屋を癒しの空間に変え、家族や友人にプレゼントすればパッと笑顔を咲かせてくれます。さらにSNSで発表すれば、「可愛い！」「癒されるね」と共感してくれる新しい仲間との出会いも待っています。

「私にもこんな可愛い作品が作れた！」という喜びが、あなたの毎日を少しだけ明るく、優しいものにしてくれるはずです。

✓まとめ

- ・切り絵を始めるのに「特別な才能」は必要ありません。
- ・楽しくつくったものはどれも素敵！失敗を恐れず、自由に形にしてみましよう。
- ・あなたの生み出した「こども」が、あなた自身と周りの人を笑顔にしてくれます。

さあ、次はあなたの番です。

真っ白な紙にカッターを入れるあの心地よい感覚を、ぜひ味わってみてくださいね。コーギーは、いつでも「大丈夫ですよ」と、あなたの第一歩を応援しています！

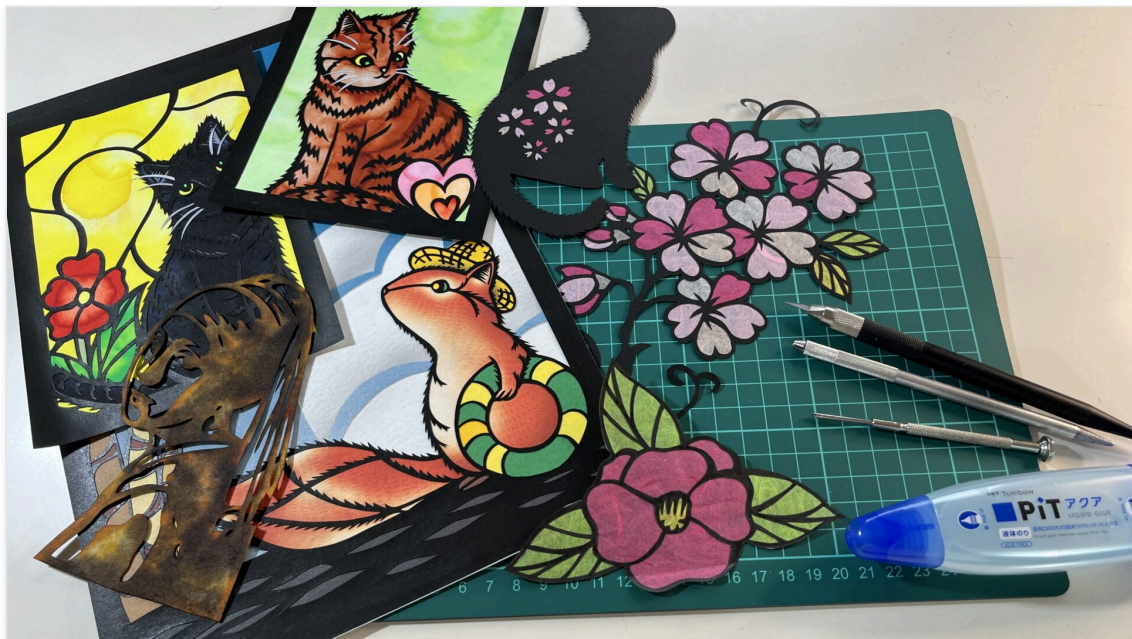


おわりに

最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。

この電子書籍が、これから「ファンタジー切り絵」を始めてみたいと思っている読者のみなさんにとって、少しでも勇気やヒントになれば、これほど嬉しいことはありません。

切り絵は、一枚の紙から無限の世界を生み出せる魔法のようなアートです。焦らず、完璧を目指さず、まずは「切る」という作業そのものを思い切り楽しんでくださいね。



切る時間そのものを楽しんでくださいね

あなたの手から、たくさんの愛おしい「こども」たちが生まれることを心から楽しみにしています。

コージー

◆ この電子書籍を読み終えたあなたへ

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

ここまで読んでくださったあなたは、きっと「自分の手で可愛いファンタジーの世界を作りたい」という素敵な想いをお持ちの方だと思います。

もちろん、ここでお伝えしたことをもとに、ご自身のペースで切り絵を楽しむこともできます。

ただ、一人で進めるとどうしても「これで合っているのかな？」と迷ってしまったり、手が止まってしまう瞬間があるかもしれません。

もし、「迷わずスムーズに完成させたい」「『大丈夫ですよ』と背中を押してもらえる安心できる居場所が欲しい」と感じているなら、ぜひ『コージー切り絵アカデミー』の扉を叩いてみてください。

詳細やお申し込みについては、別途メールでお届けしているご案内ページからお手続きいただけます。

あなたのご自身の可愛い切り絵を生み出し、笑顔になる日を心からお待ちしています。

コージー

発行日：2026年

著者：コージー

公式サイト：<https://cozypaperart.com/>

© 2026 Cozy Paper Art. All rights reserved.